

第1回岩国市地域福祉計画素案策定委員会 審議要約

- 1 開催日時 平成20年10月28日(火) 18時00分～20時
- 2 開催場所 岩国市役所 2階 特別会議室
- 3 出席者 【委員14名】
瀧山委員長、澤井副委員長、今田委員、植野委員、河角委員、川野委員
嶋田委員、田原委員、中佐委員、中村委員、橋本委員、廣田委員、藤本委員
村岡委員
【事務局】
副市長 大伴、健康福祉部長 高木、社会課長 福岡、社会課長補佐 澤木
社会課地域福祉推進室長 中原、同室 村重
- 4 議題 (1) 第一次地域福祉計画実績報告
(2) スケジュールについて
(3) アンケート結果について
(4) 地域座談会経過報告
(5) 地域福祉計画 項目(案)
- 5 傍聴者 なし
- 6 審議要旨
 - (1) 第一次地域福祉計画実績報告
 - 地域の拠点づくりの支援として、旧市内の連合自治会単位で21地区に支援している。
 - 地域支え合い活動を推進し、団体は増えてきている。
 - 地域福祉総合支援センターは岩国市社会福祉協議会に委託して実施。
 - 地域福祉団体への講師派遣、拠点づくりとしてOA機器の使い方についても講師を派遣した。
 - 地域支え合い活動、地域ふれあいサロンが120団体以上に増え、平成20年度も若干ではあるが増えている。
 - (2) スケジュールについて
 - スケジュールについて、素案策定委員会に諮るべきである。
 - 第1回目は10月末、2回目は11月末、3回目が1月初旬、最終4回目は2月下旬を考えている。1月の市民会議福祉担当の会議に諮問し、2月にパブリックコメントを実施する予定。
 - (3) アンケート結果について
 - 無作為抽出で2,000件を7月に実施。945件の回答があり、回答率は47.5%。
 - アンケート項目についても、素案策定委員会に諮るべきである。
 - 持ち家とアパートなどを分ける考え方を変えていかないと地域福祉はできない。
 - アンケートが全てではないが、ある程度施策をもちながらアンケートの分析に取り組みないといけない。
 - (4) 地域座談会経過報告
 - 市社協と共同開催で実施している。
 - 旧郡部は終了し、旧市内は小瀬のみ終了している。地域の状況を知ることからスタートしており、活発な意見が出た。
 - どこも5年先10年先に対する不安を持っている。
 - 地区ごとに座談会をしなければ正しい意見は聞けない。
 - アンケートよりも座談会の中身が本音だと思う。座談会の内容を煮詰めたほうが、より皆さんの気持ちに近いのではないか。

は違うのではないだろうか。

(5) 地域福祉計画 項目(案)

- 計画の位置付けが見えにくい。3つの福祉計画を推進していくための性格と、前回のようにインフォーマルな活動を推進するための性格の両方がいると思う。
- 地域福祉計画は「どうやって住民を巻き込んでやっていくのか」と思う。
- 困りごとがあるときに、行政が何をできるか、事業者は何をできるか、住民は何ができるかを、ということを考えるのが地域福祉計画。
- 内容は3計画以上にインフォーマルな地域の計画。整合性が取れるような仕組み、全体の福祉の意見を言えるような会議を作ろう。
- 市民会議との関係は整合性を持つことが必要。市民会議に諮って修正というのではいけない。市民会議で理解をいただくことが大切と思う。
- 基本は一次計画として、旧郡部の計画を作成とし、状況に応じて進めることにより全市的なものを作る。
- これにプラスして、3つの福祉計画との接点を見つけられればいい。整合性を諮ればよいだろう。